

〈11月号 あんない〉

2面 中間決起・防災訓練

3面 ザ・組合員、ボルダリング他

4面 お知らせ

※コラム・窓はお休みします



発行所
東京土建一般労働組合
多摩西部支部
昭島市中神町2-4-19
電話 042-546-1577 (代)
発行責任者 白倉和行

成果152人で達成！ 秋の拡大打ち上げ式



拡大月間の目標を達成し明るい表情が並ぶ

秋の拡大月間成果表

2016年10月31日現在

分会名	目標	成果
砂川	9	☆10
けやき	11	☆16
高松	10	☆11
国立	5	☆8
立南	6	☆15
富士見	9	☆9
昭島中央	6	☆8
玉川	6	☆6
朝日	6	3
拝東1	10	6
拝島	10	4
事業所	24	☆57
直属	16	9
合計	128	☆162



※拡大統一行動日には
行動センターに
集まりましょう

平松組織部長 総括



労をねぎらう平松組織部長

2カ月にわたる拡大月間、本当にお疲れ様でした。2カ月に及ぶ秋の拡大月間は月間、年間目標を共に達成することが出来ました。

多くの仲間を迎え入れることが出来た要因は、本日参加されている皆さん、統一集約日に参加してくれた仲間、支えてくれたご家族の協力、奮闘によるものです。活動にご協力ありがとうございました。

年間・月間目標達成分会の声——

■砂川分会

序盤はなかなか対象者が見つからず苦労したが、オルグの大関さんを中心に追い込みをかけ年間、月間目標を達成することが出来た。

■けやき分会

今回は対象者が見つからず苦労したが、分会全体で団結をして行動し、年間・月間目標達成が出来た。

■高松分会

分会、オルグ、組織部長が一丸となって拡大行動に取り組むことが出来、年間・月間を達成することが出来た。

■国立分会

分会の皆さん、オルグ、書記のおかげで年間・月間目標を達成することが出来た。この調子で来年も頑張りたい。

■立南分会

大きな事業所に助けられながら加入者を順調に伸ばして、年間、月間目標を達成することが出来た。来年も頑張る。

■昭島中央分会

年間、月間共にギリギリの達成であったが、分会全体で力を合わせて拡大行動に取り組むことが出来た。

マザー牧場で中間決起集会 持ちより38人で大成功!!



10月2日(日)、秋晴れのもと、支部の中間決起集会がマザー牧場で行われた。今回の集会を兼ねてのイベントの目玉は現地での芋掘りで組合員の沢山の家族と一緒に楽しい集会となった。

ここで分会ごとに新規成果の持ちより発表となり、今回の分会目標2人以上との高いハードルを見事全分会が達成し、歓喜の声が上がった。

今回新規加入者は38人で新年度目標の61%だったが、ここからが本当の正念場であり生みの苦しみだ。私たちは今年3,500人を超えることができた。

しかし油断するとすぐ現勢を減らすのだ。

昼食のBBQに舌つづみを打ちながら、これからの後半戦を一致団結して乗り切ることを、可愛い笑顔でお肉を平らげる子どもたちを前に誓った。なぜ

なら、私たちは2020年までに3,800人体制を目指しているからだ。
(事業所分会・白倉和行)



大人も子供もおいしいお肉に舌鼓

一糸乱れぬ救助活動

墨田支部訪問

墨田区で行われた防災訓練に本支部からも参加しました。墨田支部の手際の良い訓練実演はもちろん、メンバー選出の方法など本支部でも行われる住宅デーに活かせる収穫がありました



真剣な眼差しで救助実演に臨むメンバー

墨田区防災訓練が行われ、本支部の常任執行委員、防災協定員の主な人達とその救助方法などを学ぶため、訪問させていただくことになった。

墨田区は東京都でも特に災害時の被害が多いとされる地域で区民の防災意識も非常に高く、その規模も立川の防災訓練をしのぐほどに思われた。

私たちも早速第2会場での体験に臨んだ。この会

場は起震車や耐震相談、そのほか災害救助犬までいてとても充実したエリアになっている。その一角に墨田支部のテントがあり、倒壊家屋の模型が置いてあった。

まず、墨田支部ハンマーズの皆さんの模範訓練があり、続けて私たちが墨田の皆さんの指導を受けながら治田常任の号令で倒壊家屋の要救護者の救助訓練を開始、墨田の方々が驚くほどの動きで見事に救助することができました。この一連の動きを何回か練習させていただき感じたことは、実際はジャッキなどの器具は無いかもしれない、しかし訓練を繰り返すことで災害時に落ち着いて、その場にある有り合わせの材料等で救護することが重要と感じた。

墨田支部の皆さんに話を聞かせていただいた。このハンマーズの人選はどのようにして選んだのか聞いたところ、「後継者対策部を中心に集め、週に2〜3回程度練習やミーティングを繰り返しているということだった。私たちもぜひベテランとの融合を参考にしたい。

私たちの秋の住宅デーでもこの訓練をやり、ぜひ成功させて墨田支部の皆さんに恩返しをしたいと思った。

(事業所分会・白倉和行)

50周年記念
長期連載企画

ザ・組合員①

支部は来年創立50周年を迎えます。教宣部ではこれを機に長期の連載「ザ・組合員」を企画。組合員の現在、未来、過去を紹介する趣旨です。初回は鶴岡誠一前委員長を取り上げます。

ラグビーで人生が一変



鶴岡誠一前委員長

現在住んでいる立川市の高松町で生まれ、両親と兄弟4人の6人家族で生活していました。貧しいながら母はほとんど働きに出ず生活を守り、父は近くで工場を借り機械加工と溶接をして働いていました。

高校は昭和第一に入学、1年

からラグビー部に入りました。先輩、顧問に恵まれ（先輩組合員の馬場秀彰氏）、自分自身の生き方を一変させられました。負けず嫌いに、精神的にも成長した様に思います。高校を卒業し NEC に就職、入社式の際に勤務課の方がきて、「ラグビーが出来るのなら次の日曜日にこの場所へ来て下さい」と突然言われました。まだ配属先すら知らされていないのに…、とまどいばかりのスタートでした。

ラグビーと職場と真面目に務めました。1年目位から大学受験の夢が大きくなり…、大学に何とか受かり退職を決意しました。いまだに NEC の OB 会からは連絡があり総会に出席しています。無事4年で卒業が出来ましたが、父の体調も悪かったので学校と仕事の手伝いの大学生活でした。

（顧問・鶴岡誠一）

ボルダリングで腕力発揮

多摩西ブロック青年部の中間決起と位置付けて行ったイベント「ボルダリング&BBQ大作戦」ですが、天気にも恵まれ、約48人の参加で行いました。

ボルダリングでは普段建設職人として働いている青年部員の腕力を発揮し、初めてボルダリングをした部員も難しいコースをすらすらと登っていました。また、BBQ では普段交流の無い各支部の部員同士、または家族同士でもお酒を飲みながら仕事の事や青年部の状況などを語り合い、大いに盛り上がりました。

（書記・吉野真貴）



気持ちの良い汗を流して交流を深めた

足場作業者特別教育講習
受講義務付け

現場等にて必要不可欠な足場の組み立て、解体時の作業に従事する作業者を対象に、この度2015年7月より2017年6月までの2年間で、経験者に限り経過処置として講習を受講しなければなりません。それは安全衛生特別教育規定により、2015年3月31日、厚生労働省より通達で上記教育が義務付けられたからです。このような特別教育が最近増えた背景には労災に係る事故の多発があげられます。厚生労働省は災害を減らすため、作業労働者に再教育の必要性、慣れなどからくる事故をなくすためにこの制度を制定したと思われます。

第1回を10月16日(日)に開催。支部3階に約25人の受講者が集まり熱心に講習を受けました。折しも今回は足場の事故がテレビや新聞等で大きく取り上げられている最中であり、六本木の路上で通行中の

方が亡くなるという最悪の事態を招いた後で講師、受講者ともに緊張感のある講習となりました。

来年の6月まで1年を切ってしまいましたが、支部ではこれから毎月開催していくように計画しております。このような特別教育なども随時開催してまいります。経過処置後は6時間講習になってしまいます。是非、組合員の皆様の命を守り、ご家族、同僚、会社を守ることに繋がるとお考えいただき、まだ足場講習をしていない方は、お早めに受講していただきたいと思います。

（事業所分会・白倉和行）

「いざ」というときの救命まなぶ



「いざ」という時に備えて実際に
動ける知識を身につける

午前は本部仕事対策部の松広高幸さんを講師に、防災に関するDVD上映・熊本地震の調査結果報告・地域活動や各支部の取り組みについての講義が行われ、震災時に問題となるトイレ対策としてダンボールを使った簡易トイレを実際に作りました。作り方がわかれば、どのダンボールでも応用でき思いのほか丈夫な造りで感心させられました。

午後からは消防OBの方々による普通救命の講習が行われました。応急手当の重要性、救命措置についてユーモアを交えて丁寧に解説して下さいました。講義後、人形を使った傷病者救命のための実技講習において公共施設でよく見かけるAEDを初めて手にしたのですが音声ガイダンスがあり誰でも使える物だと思いました。「一刻を争う場、いざというときに勇気をもって手助けすることが人の命を救う」ということでした。

（国立分会・小松 孝）

「ものづくりの楽しさ」と、「安心・安全なまちづくり」がぎっしり詰まった 楽しい地域交流イベント！

(※立川市・昭島市に在住の方々の主な対象としています)

どけんフェスタ

～秋の住宅デー～

2016
11/13(日)

※雨天時は安全に配慮し中止

会場 立川サンサンロード

住所：立川市曙町2 多摩都市モノレール立川北駅よりすぐ

時間 午前10時30分～午後3時

●ポニー乗馬体験 (無料・体重30kg以下のお子さんに限ります)

●子ども工作教室 (無料・受付は午後2時までです)

●ミニ上棟式 (お菓子鑑賞) ●楽しい射的

●倒壊家屋救助訓練見学

●防災グッズ展示・試食

●美味しいケータリングカー

(やきそば、からあげ、クレープなど)



射的1回
無料券
当日限り有効

主催：東京土建一般労働組合多摩西部支部 ☎042-546-1577 後援：立川市

既従事者コース (3時間) 受講申し込み受付中

足場作業者特別教育講習

近くて
安心だね

2015年7月より、足場の組立て、解体または変更の作業に従事する労働者は、特別教育の受講が義務付けられました。

2015年6月30日時点で18歳以上で従事経験のある方は、2年間の経過措置があり、2017年6月までに受講しなければなりません。労災事故を未然に防ぎ、万が一の事故の場合に対応するため、また、信頼される地元建設労働者の組合として、みなさんの受講を呼びかけています。※これから雇用される方は「未経験者コース (6時間)」の受講が必要です。



《と き》11月20日(日) 午前8時30分
《と ころ》東京土建多摩西部支部会館3階
《費 用》4,200円と写真1枚が必要です

※組合未加入者の受講料は7,060円です ※写真はタテ3cm×ヨコ2.5cm、無背景、正面脱帽



お申込・お問合せは東京土建多摩西部支部まで 電話042-546-1577

たませいぶ 女性の会のとりのくみ・・・



女性の会

秋の拡大超過達成！

顧問・分会担当役員・分会長・担当書記・
会員の皆様のご協力のもと、新しい仲間を
23人迎えることができました。
たくさんのご協力

ありがとうございました。

今後も、私たちと共に、活動してくれる仲間
を増やしていけるよう、努力していきたいと
思っています。

10月定例会学習会

吉野書記より「どけん地震共済」の
保障の内容や一般損害保険との違い等を
教えて頂きました。

※詳しい内容は、土建事務所までお問合せ下さい



多摩西部支部女性の会 お問い合わせ先 042-546-1577 担当：河村